

令和5年度

第3学年 評価規準

評価について

「あゆみ」に記載する、①観点別学習状況、②行動のようす、③特別活動のようすの評価は、学校で定める評価規準をもとに評価を行っています。

①観点別学習状況は、評価規準をもとに、3段階評価を行っています。

A、B、Cの3段階評価です。

「目標に対して十分満足できる」 A

「目標に対しておおむね満足できる」 B

「目標に対して努力を要する」 C

②行動のようすは、評価規準をもとに、項目ごとにその趣旨に照らして「十分満足できる」状況にあると判断されるものに「○」印を記入します。

③特別活動のようすは、特別活動（1・2・3年生は学級活動、児童会活動、学校行事、4年生以上は学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事）全体にわたって認められる、お子様の活動を評価します。内容ごとにその趣旨に照らして「十分満足できる」状況にあると判断されるものに「○」印を記入します。

評価規準の内容について

評価規準に記載されている内容は、3段階評価の規準に対しておおむね満足できる場合は、3段階評価のBとなります。

※評価規準は、年度当初に計画したものを記載しているため、児童の実態や学習状況に応じて単元や内容を変更している場合もあります。

第3学年 国語科 後期 評価規準

単元一覧表

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる	ク	ホ、マ	友だちとの感じ方の違いに積極的に気付こうとし、学習課題に沿って、詩を読んで思ったことや考えたことを深めようとしている。
気持ちをこめて「来てください」	キ	ナ、ニ、ネ	相手や目的を意識して、伝えたことを進んで明確にし、学習課題に沿って、丁寧な言葉を使って行事を案内する手紙を書こうとしている。
ちいちゃんのかげおくり	オ	ヘ、ホ、マ	登場人物の気持ちや様子の変化について、進んで場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って、物語を読んだ感想をまとめようとしている。
修飾語を使って書こう	オ、カ		今までの学習をいかして、修飾語と被修飾語の関係について理解しようとし、積極的に言葉の役割や性質を捉えなおそうとしている。
秋のくらし	オ	ナ	積極的に語句の量を増やし、学習課題に沿って、その季節らしさを表した文章を書こうとしている。
仕事のくふう、見つけたよ	カ	ニ、ノ	内容の中心が明確になるよう、積極的に文章の構成の工夫を考え、学習の見通しをもって、調べたことを報告する文章を書こうとしている。
はんで意見をまとめよう	オ	タ、ト	進んで目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら、学習の見通しをもって、グループで話し合い、考えをまとめようとしている。
漢字の広場④	エ	ネ	積極的に第二学年までに学習した漢字を確かめ、今までの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
すがたをかえる大豆 【じょうほう】 科学読み物での調べ方 食べ物のひみつを教えます	ケ、コ、ソ	ニ、ヌ、ネ、ハ	積極的に説明される内容とそれを支える事例との関係などについて叙述を基に捉えたり、それらを明確にして書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見通しをもって、文章の説明の工夫を見つけて、それをいかして書こうとしている。
ことわざ 故事成語	シ	ナ	積極的にことわざや故事成語の意味を知ろうとし、学習課題に沿って、調べたことをまとめて書こうとしている。

漢字の意味	ウ、エ	ネ	今までの学習をいかして、漢字と仮名を用いた表記を理解しようとし、積極的に文や文章の中で使おうとしている。
短歌を楽しもう	サ		学習課題に沿って、易しい文語調の短歌を進んで音読したり、暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。
漢字の広場⑤	エ	ネ	積極的に第二学年までに学習した漢字を確かめ、今までの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
三年とうげ	オ	ヒ、ヘ	登場人物の気持ちの変化について、積極的に場面の移り変わり結び付けて具体的に想像しようとし、学習課題に沿って、物語を紹介しようとしている。
たから島のぼうけん	オ	ニ、ネ、ノ	積極的に構成を工夫しようとし、学習課題に沿って、物語を書こうとしている。
冬のくらし	オ	ナ	積極的に語句の量を増やし、学習課題に沿って、その季節らしさを表した文章を書こうとしている。
詩のくふうを楽しもう	ク	ノ	進んで詩を読んで感想や考えをもとうとし、今までの学習をいかして、詩のおもしろさを紹介する文章を書いたり、詩を創作したりしようとしている。
カンジー博士の音訓かるた	エ		今までの学習をいかして、漢字の音訓や送り仮名に着目し、漢字を適切に使った文を積極的に作ろうとしている。
漢字の広場⑥	エ	ネ	積極的に第二学年までに学習した漢字を確かめ、今までの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
ありの行列	ア、カ	ハ、ホ	進んで一人一人の感じ方の違いに着目し、学習課題に沿って、科学読み物を読んだ感想を伝え合おうとしている。
つたわる言葉で表そう	ア、オ	ヌ	相手に伝わる文章を書くための語句を選んで増やして使い、学習課題に沿って、伝えたいことを文章にしようとしている。
これがわたしのお気に入り	オ	ナ、ヌ、ネ、ノ	自分の考えとそれを支える理由の関係を明確にして、進んで書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、紹介する文章を書こうとしている。
コンピュータのローマ字入力	ウ		今までの学習をいかして、粘り強くコンピュータを使ったローマ字入力に取り組み、簡単な単語を入力したり変換したりしようとしている。
わたしたちの学校じまん	イ、キ、ケ		進んで言葉の抑揚や強弱、間のとり方などに注意し、学習の見通しをもって、グループで練習し発表しようとしている。

モチモチの木	オ	へ、ホ、マ	登場人物の性格について場面の移り変わり と結び付けて粘り強く想像し、学習の見通 しをもって、感じたことや考えたことをま とめて友達と伝え合おうとしている。
--------	---	-------	--

○知識及び技能(1)言葉の特徴や使い方

記号	内容
ア	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。
イ	相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。
ウ	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。
エ	第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。
オ	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。
カ	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、支持する語句と役割、段落の役割について理解すること。
キ	丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。
ク	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。

○知識及び技能(2)情報の扱い方

記号	内容
ケ	考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。
コ	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。

○知識及び技能(3)我が国の言語文化

記号	内容
サ	易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。
シ	長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語の意味を知り、使うこと。
ス	漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。
セ	書写に関する事項を理解すること。
ソ	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。

○思考力、判断力、表現力等 【A話すこと・聞くこと】

記号	内容
タ	目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えるために必要な事柄を選ぶこと。
チ	相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考へること。
ツ	話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。
テ	必要なことを記録したり、質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと の中心を捉え、自分の考へをもつこと。
ト	目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点 に着目して、考へをまとめること。

○思考力、判断力、表現力等 【B書くこと】

ナ	相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較 したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。
ニ	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したり して、文章の構成を考へること。
ヌ	自分の考へとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。
ネ	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整 えること。
ノ	書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章 のよいところを見つけること。

○思考力、判断力、表現力等 【C読むこと】

ハ	段落相互の関係に着目しながら、考へとそれを支える理由や事例との関係になどについて、叙述 をもとに捉へること。
ヒ	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述をもとに捉へること。
フ	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。
ヘ	登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像す ること。
ホ	文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考へをもつこと。
マ	文章を読んで感じたことや考へたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付 くこと。

第3学年 社会科 後期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	はたらく人とわたしたちの暮らし（店・工場）
イ	地いきの安全を守る（火事・警察）
ウ	わたしたちの市の歩み

○知識・技能

記号	内容
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。 ・見学・調査したり資料で調べたりして、学習カードなどにまとめている。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解している。 ・見学・調査したり資料で調べたりして、学習カードなどにまとめている。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解する。 ・見学・調査したり資料で調べたりして、学習カードなどにまとめている。

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現している。 ・仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現している。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現している。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、横浜市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現している。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に見られる販売や生産の仕事について、主体的に問題解決しようとしている。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・火災や事故などから地域の安全を守る働きについて、自分の予想や考えを明確にもち、主体的に問題解決しようとしたり、自分たちにできることについて考えようとしたりしている。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の道具の違いや使われた時期について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

第3学年 算数科 後期 評価規準

記号	単元名
ア	大きい数のしくみ
イ	かけ算の筆算(1)
ウ	大きい数のわり算、分数とわり算
エ	円と球
オ	小数
カ	重さのたんいとはかり方
キ	分数
ク	□を使った式
ケ	かけ算の筆算(2)
コ	三角形と角
サ	ぼうグラフと表

○知識及び技能

記号	内容
ア	万の単位や1億までの整数を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ にした数や、数や式の相等、大小関係を等号や不等号を用いて表す方法を理解している。
イ	2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。
ウ	簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について理解し、計算することができる。 分数で表される場面を適切にとらえ、除法を用いて答えを求めることができる。
エ	円の中心や半径、直径について、円に関連して球の直径などを理解し、それらを活用してコンパスで円をかいたり、等しい長さをはかり取ったり移したりすることができる。
オ	端数部分の大きさを表す際に小数を用いることや小数の仕組みについて理解し、それらを活用して $1/10$ の位までの小数の加減法の計算をすることができる。
カ	重さについて、単位や単位の間隔を理解し、およその見当をつけ、適切な計器を選んで測定することができる。
キ	端数部分を表す数や大きさを表す数としての分数やその表し方を理解し、それらを活用して分数の加減法の計算や $1/10$ の位までの小数と分母が10の分数の関係について理解している。
ク	数量の関係を表す式に未知の数量を表す□を用いることを理解し、それらを活用して問題場面を式や図に表したり、式の意味を読み取って問題場面を考え、□にあてはまる数の調べ方を理解したりしている。
ケ	2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を活用して、2～3位数×2位数の乗法を筆算で計算することができる。
コ	二等辺三角形や正三角形の辺の特徴や角の大きさについて知り、それらを活用してそれぞれの図形の意味や性質、作図の方法を理解している。
サ	日時や場所などの観点別にデータを分類整理することを理解し、それらを活用して表や棒グラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ったりすることができる。

○思考力、判断力、表現力等

記号	内容
ア	数の構成や仕組みに着目し、万の単位を用いた数の仕組みについて類推して考え、大きな数の大小の比べ方や表し方を統合的にとらえ、説明している。
イ	数の構成や既習の乗法計算に着目し、2～3位数×1位数の筆算について考え、説明している。
ウ	簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について、既習の計算の仕方や図などを用いて、数の構成に着目して考え、説明している。 等分することや分数の意味に着目して、分数で表されている場面について、除法を用いて計算することを考え、説明している。
エ	円や球を構成する要素に着目し、構成の仕方や身の回りのものに図形の性質がどのように活用されているかについて考え、説明している。
オ	数の表現や数のまとまりに着目し、小数の記数法は整数の十進位取り記数法を拡張したものにとらえ、数の大小関係や加減法の計算について考え、説明している。
カ	身の回りのものの重さやその単位に着目し、量感覚を身につけたり、単位の関係を統合的に考え、説明したりしている。
キ	分数は基準量を任意に等分した単位分数のいくつ分かを表していることに着目して、数の大きさを図に表したり、計算したりする方法を考え、説明している。
ク	数量の関係や問題場面に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連づけて読み取ったりすることを通して未知の数量を表す□を用いた式について考え、説明している。
ケ	数の構成や乗法について成り立つきまり、既習の2～3位数×1位数の筆算の仕方に着目し、2～3位数×2位数の筆算の仕方について考え、説明している。
コ	図形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や正三角形の性質を考えるとともに、それらの作図の仕方について考え、説明している。
サ	目的に応じてデータを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察したり、見出したことを分かりやすく表したりする方法について考え、説明している。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	大きい数をとらえる際、十進位取り記数法の既習事項を生かすとともに、大きい数を身の回りから探したり、使ったりしようとしている。
イ	2～3位数×1位数の筆算の仕方について、乗法九九などの基本的な計算を基に考えたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
ウ	簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について、具体物や図、式を関連づけたり、既習の計算の仕方などを基に考えたりしながら、数理的な処理のよさに気づいている。 分数と除法の関係やもとの数と分数の関係を考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づいている。
エ	身の回りにある円や球の性質や特徴を調べたり、円や球のもつ機能に気づき、進んで生活に生かしたりしようとしている。

オ	小数の仕組みに関心を持ち、進んで小数で表そうとしている。
カ	「重さ」は、数値化できることに興味を持ち、重さを調べたり量ったりしようしたり、目的に応じて、単位や計器を選んで測定しようとしている。
キ	分数の仕組みや表し方に関心を持ち、進んで考えたり使ったりしようとしている。
ク	図や言葉の式をもとに、わからない数を□として、文脈通りに数量の関係を式に表そうとしている。
ケ	(2～3位数)×(1位数)の計算のしかたをもとに、(2～3位数)×(2位数)の計算のしかたを進んで見つけ出そうとしている。
コ	三角形に関心をもつとともに、身の回りから三角形を探したり、進んで調べたり、比べたりしようしたり、三角形で敷き詰めたりする活動を楽しもうとしている。
サ	身の回りの事象について、観点を決めて整理し、整理したことからどんな特徴がとらえられえるかを読み取ろうとしている。

第3学年 理科 後期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	こん虫のかんさつ
イ	植物の一生
ウ	かげと太陽
エ	光のせいしつ
オ	電気で明かりをつけよう
カ	じしゃくのふしぎ
キ	音のせいしつ
ク	ものと重さ

○知識・技能

記号	内容
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・生物は、周辺の環境と関わって生きていることを理解している。 ・昆虫の成虫の体は頭、胸および腹からできていることを理解している。 ・昆虫の育ち方には一定の順序があることを理解している。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・生物は、周辺の環境と関わって生きていることを理解している。 ・植物の体は根、茎及び葉からできていることを理解している。 ・植物の育ち方には一定の順序があることを理解している。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・日陰は太陽の光を遮るとできることを理解している。 ・影と太陽の位置について、方位磁針や遮光板などを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録している。 ・日陰の位置は、太陽の位置の変化によって変わることを理解している。 ・温度計を正しく扱って、日なたと日陰の地面の温度を調べ、結果をわかりやすく記録している。 ・地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では暖かさや湿り気に違いがあることを理解している。
エ	<ul style="list-style-type: none"> ・日光は直進し、反射させることができることを理解している。 ・的の明るさや温度について、鏡や温度計などを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録している。 ・日光は集めることができること、ものに日光を当てるとものの明るさや暖かさが変わることを理解している。 ・日光は集めることができること、ものに日光を当てるとものの明るさや暖かさが変わることを理解している。
オ	<ul style="list-style-type: none"> ・電気の回路について、乾電池や豆電球を正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録している。 ・電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。 ・電気を通すものと通さないものがあることを理解している。
カ	<ul style="list-style-type: none"> ・磁石につくものについて、磁石などを正しく扱いながら調べ、その結果をわかりやすく記録している。 ・磁石に引きつけられるものと引きつけられないものがあることを理解している。 ・磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 ・磁石に近づけると磁石になるものがあることを理解している。

キ	<ul style="list-style-type: none"> ・ものから音が出るとき、ものは震えていること、また、音の大きさが変わるときものの震え方が変わることを理解している。 ・糸電話を正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録している。 ・ものから音が伝わる時、ものは震えていることを理解している。
ク	<ul style="list-style-type: none"> ・自動上皿はかりを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録している。 ・ものは、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。 ・ものは、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの昆虫と環境との関わりについて、複数の昆虫を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ・昆虫の育ち方について、複数の昆虫を比較して考察し、自分の考えを表現している。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの植物と環境との関わりについて、複数の植物を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ・植物の育ち方について、複数の植物を比較して考察し、自分の考えを表現している。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻による日陰の位置の変化を比較して問題を見だし、自分の考えを表現している。 ・日なたと日陰の地面のようすを比較して問題を見だし、自分の考えを表現している。 ・日なたと日陰の地面について、実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。
エ	<ul style="list-style-type: none"> ・日光を重ねたときの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ・日光を集めたときについて、既習事項をもとに予想を発想し、自分の考えを表現している。
オ	<ul style="list-style-type: none"> ・明かりがつくときの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ・電気を通すものについて予想し、自分の考えを表現している。 ・電気を通すものの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。
カ	<ul style="list-style-type: none"> ・磁石につくものを、既習事項をもとに予想を発想し、自分の考えを表現している。 ・磁石につくものの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。
キ	<ul style="list-style-type: none"> ・音が出ているときのもののようすについて問題を見だし、自分の考えを表現している ・音が出ているときの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。
ク	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの形を変えたときの重さについて問題を見だし、自分の考えを表現している。 ・ものの体積と重さの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの昆虫について進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ・身の回りの昆虫について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの植物について進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ・身の回りの植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽と地面のようすについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ・太陽と地面のようすについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

エ	<ul style="list-style-type: none">・光の性質について進んで関わり，他者と関わりながら調べようとしている。・光の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
オ	<ul style="list-style-type: none">・電気の回路について進んで関わり，他者と関わりながら調べようとしている。・電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
カ	<ul style="list-style-type: none">・磁石の性質について進んで関わり，他者と関わりながら調べようとしている。・磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
キ	<ul style="list-style-type: none">・音の性質について進んで関わり，他者と関わりながら調べようとしている。・音の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
ク	<ul style="list-style-type: none">・ものと重さについて進んでかかわり，他者とかかわりながら調べようとしている。

第3学年 音楽 後期 評価規準

○後期 単元一覧表

記号	題材名
ア	ユモレスク / 白鳥 / 「組曲『アルルの女』」から「メヌエット」「ファランドール」
イ	森の子もり歌
	雪のおどり
	まほうのチャチャチャ
ウ	せいじやの行進 / 冬さん、さようなら / パフ
エ	レミファソラの音でせりつづくり / 音のひびきや組み合わせを楽しもう

○知識及び技能

記号	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身につけている。
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや意図に合った表現をするために必要な範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けて歌っている。 ・必要な呼吸及び発音の仕方に気を付けながら、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。 ・範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏している。 ・音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏している。
エ	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 ・音楽の仕組みを用いて、音楽をつくっている。

○思考力、判断力、表現力等

記号	内容
	音楽を形づくっている要素を聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考えている。
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・呼吸及び発音の仕方に気を付けて表現を工夫し、どのように自然で無理のない歌い方で歌うかについて思いや意図をもっている。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・音色や響きに気を付けて表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
エ	<ul style="list-style-type: none"> ・音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
	音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、学習活動に取り組もうとしている。
ア	・曲や演奏のよさに気付いて聴こうとしている。
イ	・曲の特徴を捉えた表現や、自然で無理のない歌い方で歌うための工夫について考えながら、進んで学習活動に取り組もうとしている。
ウ	・音色や響きに気を付けて演奏しようとしている。
エ	・思いや意図をもってまとまりを意識した音楽をつくろうとしている。

第3学年 図画工作科 後期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	クリスタルアニマル
イ	「小さな自分」のお気に入り
ウ	ことばから形、色
エ	くぎうちトントン
オ	クミクミックス（4・5組は前期実施）
カ	空きようぎのへんしん
キ	ひらいて広がるふしぎなせかい

○知識・技能

記号	内容
ア	<p>知識：光を通す材料を組み合わせながら、思い付いた生き物を表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。</p> <p>技能：ペットボトルなどの透明な材料、化学接着剤を適切に扱うとともに、はさみやペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>
イ	<p>知識：身近な場所を「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。</p> <p>技能：場所にある材料、身の回りの材料などを適切に扱うとともに、はさみ、セロハンテープなどについての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。</p>
ウ	<p>知識：詩や物語から想像を広げて絵に表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。</p> <p>技能：水彩絵の具を適切に扱うとともに、クレヨン・パス・ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫する。</p>
エ	<p>知識：金づちを使って木に釘を打ち、思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。</p> <p>技能：金づちや釘、木切れを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>
オ	<p>知識：段ボールの板を切ったり組み合わせたりする時の感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。</p> <p>技能：段ボールカッター、段ボールの板を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。</p>
カ	<p>知識：生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土でつくる時の感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。</p> <p>技能：空き容器、水彩絵の具などを適切に扱うとともに、紙粘土についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>
キ	<p>知識：開くと向こうに広がる不思議な世界を想像して絵に表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。</p> <p>技能：水彩絵の具を適切に扱うとともに、クレヨン・パス、ペン、はさみ、カッターナイフなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	<p>表現：形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、透明な材料を組み合わせて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
イ	<p>表現：場所や場所にある材料を基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかを考える。</p> <p>鑑賞：自分たちがつくりかえた場所の造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろな作り方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。</p>
ウ	<p>表現：詩や物語を読んで感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。</p> <p>鑑賞：自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方、感じ方を広げる。</p>
エ	<p>表現：形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、釘を打ちながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、表したいことを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
オ	<p>表現：段ボールの板や組み合わせた形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。</p> <p>鑑賞：段ボールの板を組み合わせてできた形の造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。</p>
カ	<p>表現：形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、使う様子を想像したり材料を組み合わせて感じたりしたことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
キ	<p>表現：形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、開く仕組みを基に想像したことから、表したいことを見付け、表したいことを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、作品を開いたり閉じたりして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	<p>進んで光を通す材料を組み合わせながら、思い付いた生き物を表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>
イ	<p>進んで場所の形や色などを生かして、「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>
ウ	<p>進んで詩や物語から想像を広げて絵に表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>

エ	進んで金づちを使って木に釘を打ち、楽しいものを表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
オ	進んで段ボールの板を組み合わせながら、思い付いたことを工夫してつくる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
カ	進んで生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土でつくる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
キ	進んで開くと向こうに広がる不思議な世界を想像して絵に表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

第3学年 体育科 後期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	表現運動(リズムダンス)
イ	器械運動(マット運動)
ウ	器械運動(跳び箱運動)
エ	跳の運動(小型ハードル走)
オ	器械運動(鉄棒)
カ	跳の運動(高跳び)
キ	ネット型ゲーム(キャッチバレーボール)
ク	ゴール型ゲーム(タグラグビー)
ケ	毎日の生活と健康(保健)

○知識・技能

記号	内容
ア	・表現運動では、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができる。
イ	・マット運動では、その行い方を知るとともに、回転系や巧技系の基本的な技をすることができる。
ウ	・跳び箱運動では、その行い方を知るとともに、切り返し系や回転系の基本的な技をすることができる。
エ	・小型ハードル走では、小型ハードルを調子よく走り超えることができる。
オ	・鉄棒では、自分の力に合った基本的な上がり技や支持回転技、下り技ができる。
カ	・高跳びでは、短い助走から踏み切って跳ぶことができる。
キ	・キャッチバレーボールでは、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをすることができる。
ク	・タグラグビーでは、その行い方を知るとともに、基本的なボール操作やボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができる。
ケ	・健康状態は主体の要因や周囲の環境の要因がかかわっていることがわかる。 ・毎日を健康に過ごすためには、食事、運動、休養、睡眠の調和のとれた生活を続けることや体の清潔を保つことや明るさ、換気などの生活環境を整えることが必要であることがわかる。

○思考力・判断力・表現力

記号	内容
ア	・自分の力に合った課題をもち、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方ができるようにするための運動の行い方を工夫している。 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。
イ	・自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。
ウ	・自分の力に合った課題をもち、技ができるようにするための運動の行い方を工夫している。 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。
エ	・自分の力に合った課題をもち、その課題を解決するための運動の行い方を工夫している。 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。
オ	・自分の力に合った課題をもち、技ができるようにするための運動の行い方を工夫している。 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。

カ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力に合った課題をもち、その課題を解決するための運動の行い方を工夫している。 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。
キ	<ul style="list-style-type: none"> ・規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりしている。 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。
ク	<ul style="list-style-type: none"> ・規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりしている。 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。
ケ	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを通して、身近な生活における学習課題を発見し、解決することができる。

○学びに向かう力、人間性等

記号	内容
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・表現運動の楽しさや喜びにふれることができるよう、進んで運動に取り組むとともに友達と仲良く踊ったり、場の安全を確かめようとしていたりしている。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動の楽しさや喜びにふれることができるよう、進んで取り組むとともにきまりを守り、仲良く運動をしようとしていたり、運動する場や器械・器具の安全を確かめようとしていたりしている。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動の楽しさや喜びにふれることができるよう、進んで運動に取り組むとともに、約束を守りながら友達と仲良く運動をしようとしていたり、運動する場や器械・器具の安全を確かめようとしていたりしている。
エ	<ul style="list-style-type: none"> ・跳の運動の楽しさや喜びにふれることができるよう、進んで運動に取り組むとともに、きまりを守りながら友達と仲良く運動しようとしていたり、運動する場や用具の安全を確かめようとしていたりしている。
オ	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動の楽しさや喜びにふれることができるよう、進んで運動に取り組むとともに、約束を守りながら友達と仲良く運動をしようとしていたり、運動する場や器械・器具の安全を確かめようとしていたりしている。
カ	<ul style="list-style-type: none"> ・跳の運動の楽しさや喜びにふれることができるよう、進んで運動に取り組むとともに、きまりを守りながら友達と仲良く運動しようとしていたり、運動する場や用具の安全を確かめようとしていたりしている。
キ	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット型ゲームの楽しさや喜びにふれることができるよう、進んで運動に取り組むとともに、規則を守りながら友達と仲良く運動しようとしていたり、運動する場や用具の安全を確かめようとしていたりしている。
ク	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型ゲームの楽しさや喜びにふれることができるよう、進んで運動に取り組むとともに、規則を守りながら友達と仲良く運動しようとしていたり、運動する場や用具の安全を確かめようとしていたりしている。
ケ	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や学校における毎日の健康に関心をもっている。

第3学年 特別活動 評価規準

○学級活動

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの大切さを理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい学級生活をつくるために、日常生活の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、意思決定して実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合って生活や人間関係を築こうとしている。

○児童会活動

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
<ul style="list-style-type: none"> 活動内容やめあてに向かってみんなで取り組む方法を理解する。 決まったことに学校全体や自分で進んで取り組むことよさや大切さを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体のことを考えながら多様な意見のよさを生かして合意形成できるようにする。 合意形成したことを、自分の役割を果たしながら異学年と協力して活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 異学年と協力して、学校生活をよりよいものにしていこうとする態度を養う。 自分の役割を理解して、めあてに向かって友達と協力して取り組もうとする態度を養う。

○学校行事

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
<ul style="list-style-type: none"> 協力して行事に取り組む方法を理解して、計画、実行する方法を身に付けるようにする。 ねらいや約束を意識して活動することの大切さを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験を生かして自分の役割を考え、目標を設定することができるようになる。 自分の役割や責任を進んで果たすことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を理解して、協力して取り組もうとする態度を養う。 経験したことを次の学習や日常につなげようとする態度を養う。

3年 行動のようす

【基本的な生活習慣】

- ・ 礼儀をわきまえ、心のこもった正しい言葉づかいをしている。
- ・ 危険な遊びや場所を避け安全に生活している。
- ・ 身の回りの危険に気付いて、交通事故にあわないようにしている。
- ・ みんなで使う物を大切に使っている。
- ・ 時間を有効に使って、学校生活を送っている。
- ・ 自分でできることは自分でやり、節度ある生活をしている。

【健康・体力の向上】

- ・ 自分の健康を考えて、偏食を直そうとしている。
- ・ 身近な仲間と明るく触れ合っている。
- ・ 自分の体や衣服を清潔に注意している。
- ・ 進んで手洗いうがいをしている。
- ・ 体や病気について関心をもち、健康に必要な行動を身につけている。
- ・ 正直に、明るい心で元気よく生活している。
- ・ 自分の姿勢に気をつけて、よい姿勢で学習している。
- ・ 自分の体力に応じた仕方で運動を楽しみながら、運動する習慣を身につけている。

【自主・自律】

- ・ 物事を行う前に自分でよく考え、目標をもって行動しようとしている。
- ・ 学習や役割に最後まで粘り強く取り組んでいる。
- ・ 人に左右されずに、自分のやるべきことをやり遂げようとしている。

【責任感】

- ・ 自分で決めたことを最後までやり遂げるなど、責任ある行動をとっている。
- ・ 学級の係や当番などでの役割に責任をもって、確실히行っている。

【創意工夫】

- ・ 学習や役割をするとき、自分でいろいろ考えたり方法を調べたりして、上手に行っている。
- ・ いろいろな感覚や言葉を通して楽しみながら自分のアイデアを生かして活動に取り組んでいる
- ・ 興味ある問題に関心をもち、疑問をもって関わっている。
- ・ 学習や役割をするとき、友達や先生の色々な意見もよく聞いてよりよく進めている。

【思いやり・協力】

- ・ 困っている友だちの立場に立って、困っているわけや原因をよく考えて親切にしている。
- ・ 係や当番の役割などは、だれとでも助け合っている。
- ・ 相手の気持ちや立場を理解し、だれとでも互いに助け合い仲良くしている。
- ・ 仲間同士助け合い、より楽しい活動にしている。

【生命尊重・自然愛護】

- ・ 自然に親しみながら自然のもつ美しさやすばらしさに感動し、自然や動植物を大切にしている。
- ・ 危険なことに注意し、健康に気を付け、生命を大切に生活している。
- ・ 自他の生命を尊重し、生命のあるものを大切にしている。

【勤労・奉仕】

- ・ 係や当番の役割に進んで取り組んでいる。
- ・ 働くことの大切さに気付き、力を合わせて役割をしようとしている。
- ・ みんなのためになる役割を見つけ進んで働こうとしている。
- ・

【公正・公平】

- ・ 相手によって態度を変えないで、誰に対しても分け隔てなく接している。
- ・ 分け隔てなく、誰とでも友達になろうとしている。
- ・ 友達の言い分に耳を傾け、公正・公平な判断をしている。

【公共心・公德心】

- ・ 友達との約束や学校のきまりを進んで守っている。
- ・ 公共物を大切にし、周囲の人たちに迷惑をかけず過ごしている。
- ・ 集団で行動するときなど、他の人に迷惑をかけず、きまりを守って行動している。